

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・販売単価が上がってきているので、先行きの見通しは明るい。
		通信会社（経営者）	・順調に新規案件が成約に向かっていていることから、先行きの見通しは明るい。
		その他レジャー施設 [球場]（企画担当）	・当球場のフランチャイズ球団の好調が続けば、今後来場者増加の期待が持てる。また6月には在阪の人気球団の試合も予定されており、こちらの方も多くの観客が期待できる。
	やや良くなる	一般小売店[衣服] （経営者）	・街が新しくなって客が戻ってきており、客単価も上がってきていることから、先行きに期待できる。
		一般小売店[精肉] （管理担当）	・米国牛の輸入解禁時期がわずかながらみえてきたことで、消費者の心理に良い影響を与えることが期待される。
		百貨店（売場主任）	・高額品の動きは今後も堅調に推移すると期待される。ただし、現状は大阪市内の居住者より郊外や大阪の衛星都市圏の方が消費意欲が高いことから、本格的に消費が回復するかは今後の中流層の消費動向にかかっている。
		百貨店（売場主任）	・買い控えの続くフリー客が夏物の購入に入ると予想される。また新しいトレンドアイテムやブランドが出てきており、昨年とはかなり違った色、素材、購買傾向が出てくると期待される。
		百貨店（売場主任）	・当百貨店の周辺は大型マンションや大型専門店などの建設が次々と予定されていることから、今後は地区のにぎわいが広がり、他方面からの集客力が高まることが期待される。
		百貨店（企画担当）	・春物については比較的堅調にスタートした。初夏物商材についてはこれから実需期を迎えるが、気候、気温が安定さえすれば期待できる。
		百貨店（営業担当）	・50万円前後の薄型テレビの販売が増えることにより、100万円までの商品に以前よりも割安感が持たれることで、消費に弾みがつくことが期待される。
		コンビニ（店長）	・消費税の総額表示の影響が懸念されるが、前年は気候が不安定であったことや、発泡酒、たばこの増税があったことなど特殊要因が多かったため、天候が順調であれば前年を上回ることが期待される。
		家電量販店（店長）	・住宅事情の関係もあり今後は照明器具が落ち込むと予想されるが、オリンピック需要には期待が持てる。
		家電量販店（経理担当）	・今年はオリンピックイヤーであり、プラズマテレビなどの需要拡大などが期待できる。
		乗用車販売店（経営者）	・ホテルの予約状況はほぼ満室であることから、先行きに期待される。
		住関連専門店（経営者）	・店頭での販売は低迷しているが、ネットでの売上が増えつつあることから、先行きに期待できる。
		スナック（経営者）	・周辺では閉店するところもあり、客が当店に戻ってきていることから、多少改善することが期待される。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊は、例年の大型団体による予約がなくなったが、今年はSARS問題の影響がなく、航空会社の増便による客室乗務員の宿泊受注などのプラス要因があり、先行きは明るい。
		都市型ホテル（副総支配人）	・宿泊の売上は前年より2割以上伸びており、一般宴会、ブライダル、レストランについても前年を上回る見込みであることから、先行きに期待できる。
		旅行代理店（経営者）	・イラク戦争、SARSで苦しんだ昨年と異なるのは当然だが、海外旅行の申込が確実に上向いていることから、先行きに期待できる。
		遊園地（経営者）	・イベントの問い合わせや団体客の問い合わせが前年に比べて増えてきているので、全体的に上向き傾向になっている。
ゴルフ場（経営者）	・4月後半から、土日を中心にコンペの予約も順調に入ってきており、先行きの見通しは明るい。		
美容室（店長）	・6月は1年でも集客が見込める時期であるが、4月から開店10周年キャンペーンを企画しているので好調が期待できる。		
設計事務所（経営者）	・リニューアル物件が増えたほか、新店を出すクライアントも増えてきたことから、先行きに期待できる。		
その他住宅[展示場] （従業員）	・ハウスメーカーからは客単価が落ちたという声があるものの、展示場での住宅相談件数や、住宅ローンなどの相談の増加をみると、今後ますます住宅取得熱は過熱する気配が感じられる。		

	<p>その他住宅〔情報誌〕 （編集者）</p>	<p>・新築マンションのマーケットは販売在庫の圧縮で、新規物件の発売が増加する傾向にある。また、今後の供給はますます大規模案件や超高層物件が増加する傾向にあるほか、希少な立地の物件や、規制で減少していた京都市内の供給が回復してくることなどから、エンドユーザーの購入意欲を高める可能性が高く、マーケットは活況に転じることが期待される。</p>
変わらない	<p>一般小売店〔時計〕 （経営者）</p>	<p>・近くの百貨店が閉店することもあり、客が他の地域に流れることが懸念される。</p>
	<p>百貨店（売場主任）</p>	<p>・消費税の総額表示による割高感からくる影響は予測できないが、一方では今年は春が長いと予想され、商品サイクルが長くなるという期待感がある。</p>
	<p>百貨店（売場主任）</p>	<p>・ヒット商品の不足や、競合店との競争の激化もあり期待できない。</p>
	<p>百貨店（担当者）</p>	<p>・婦人服の春物の動きが鈍く、この先売れるとは予想しにくい。婦人服が好調に売れていかないことには、全体の売上も上昇しない。</p>
	<p>スーパー（経理担当）</p>	<p>・消費税の総額表示は思ったよりコストや人手がかさむほか、他社も含めた価格表示は、税込、税抜が混在し、消費者が戸惑う懸念が大きい。これによる当面のマイナス要因が売上の上向きトレンドを相殺することが懸念される。</p>
	<p>コンビニ（経営者）</p>	<p>・高付加価値型の機能性飲料の売行きもやや落ち着いてきて、客単価引き上げ効果も薄れてきた。高級おにぎり等もトータルで客単価を引き上げるほどの効果は出ておらず、しばらくは現在の低い水準で推移しそうだ。</p>
	<p>衣料品専門店（経営者）</p>	<p>・求人数は増加傾向にあるものの、派遣、請負契約による短期的な就労等不安定な求人が多く、雇用面での不安が解消されるには至っておらず、まだ厳しい状況が続く。</p>
	<p>衣料品専門店（経営者）</p>	<p>・これから春本番になり期待しているが、ヒット商品がない限り変わらない。</p>
	<p>家電量販店（企画担当）</p>	<p>・アテネオリンピックなどイベントで期待感はあるが、4月1日からの消費税の総額表示に消費者が値上がりしたイメージを持たれると、表示に慣れるまで買い控えが起こることが懸念される。</p>
	<p>乗用車販売店（営業担当）</p>	<p>・3月の新車販売台数はほぼ前年並みで、時節からすればまずまずの結果だが、4月以降については全く不透明である。</p>
	<p>通信会社（経営者）</p>	<p>・新規の需要拡大が限界にきており、既存顧客の買い換え需要に頼るところが大きいほか、低価格で販売数を稼ぐ手法が限界にきている。今後は高価格での販売に移行するとともに、販売量そのものは減少することが懸念される。</p>
	<p>競輪場（職員）</p>	<p>・グレード開催がなく、特別なプラス要因がない。</p>
	<p>その他レジャー施設 〔イベントホール〕 （職員）</p>	<p>・東京に重点をおいて動く取引先も多く、大阪はこれから先もまだまだ厳しい状況が続くと懸念される。</p>
<p>その他サービス〔ビデオ・CDレンタル〕 （エリア担当）</p>	<p>・中心顧客層である若年者の就職状況等にもあまり変化があるようにはみられないことから、先行きは不透明である。</p>	
やや悪くなる	<p>一般小売店〔精肉〕 （管理担当）</p>	<p>・鶏肉については、全体的な需要が減少し続けており、回復には時間がかかりそうである。また牛肉については、販売額に見合う仕入れがなかなかできないことから、米国産牛肉の部分的な輸入解禁があってもあまり影響はないと予想される。</p>
	<p>スーパー（経営者）</p>	<p>・消費税の総額表示に伴うトラブルや、価格据置きによる本体価格の引き下げの影響が出てくる。同業他社も単価引下げが中心となっていることから、日常買い回り品の価格低下が続くことが懸念される。</p>
	<p>乗用車販売店（営業担当）</p>	<p>・古い車やディーゼル車等の買い替えは進むと期待されるが、2月、3月のような水準にはならず、厳しい状況が続く。</p>
	<p>その他サービス〔学習塾〕（経営者）</p>	<p>・周辺に数か所の個人塾が開講したため、今後更に生徒の確保が難しくなる。</p>
悪くなる	<p>商店街（代表者）</p>	<p>・閉店したり、営業時間を短縮する店が増えていることから、今後どの程度回復するか予想できない。</p>
	<p>衣料品専門店（経営者）</p>	<p>・主力商品の重衣料に関しては、エコスタイルの浸透による需要減少で打撃を受けていることから、先行きの見通しは厳しい。</p>

		通信会社（経営者）	・大手委託先からの契約解除があり、その他の取引先からも新しいニーズを引き出せない状況であることから、先行きの見通しは暗い。
企業 動向 関連	良くなる	金属製品製造業（経営者）	・一次製品の原料不足に伴って、全体的に供給不足による価格は正が起ることが期待される。
		化学工業（経営者）	・新規の案件が出てきているほか、各得意先の話でも明るい話題が多くなってきたことから、先行きに期待が持てる。
	やや良くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・大手製造業の今年度の生産見通しが上向いていることから、先行きの見通しは明るい。
		電気機械器具製造業（経営者）	・しばらくは新製品の受注が安定し、ユーザーのモデル変更による受注量も安定的に推移することが期待される。
		電気機械器具製造業（経営者）	・太陽電池、風力発電といった分野に対する投資の活発化が期待される。
		電気機械器具製造業（従業員）	・8月のオリンピックを前に、大型の液晶テレビの需要が見込まれ、それに付随してDVDレコーダーの荷動きも活発になることが期待される。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・価格の動向に不安が残るものの、見積り引き合いの件数が増加の傾向にあるので、期待はできる。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・引き合い件数、見積り件数が増加している。また、受注の可能性も以前より高くなっていることから、先行きに期待が持てる。
		不動産業（経営者）	・東京と大阪の収益物件の利回りの格差が大きくなり、大阪の物件の優位性が高まり、大阪の市場に東京資本が流入してきていることから、先行きに期待できる。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・折込チラシは、今まではパチンコ店やマンション等不動産関係ばかりが目立っていたが、最近は多種多様にわたって入るようになってきたことから、先行きに期待が持てる。
		その他非製造業〔民間放送〕（従業員）	・オリンピックというビッグイベントが控えていることで、家電メーカーがデジタル家電を中心に広告出稿を増やしてくれることが期待される。
	変わらない	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・発注量等、得意先ごとに差があり、全体としてはまだまだ上向きではないことから、今後も今の状況が続く。
		建設業（経営者）	・民間の設備投資は若干増えるかもしれないが、官庁関係は減少傾向が続く。この1か月で鉄筋、鉄骨が急激に値上がりして品不足の状況であるが、すでに契約済み工事については仕入れ価格の差額が問題になることが懸念される。
不動産業（経営者）		・事務所に関しては空室率が依然高く、まだ予断を許さない。	
不動産業（営業担当）		・賃料や土地については、立地の良い地域は上がっているが、それ以外はまだまだ下がっている状態であり、まだ良くなるとは考えられない。	
広告代理店（営業担当）		・現状は売上が前年比130%から140%の水準で推移しているが、先の注文が増えているわけではないので、今の状況が続く。	
コピーサービス業（従業員）		・取引先各社の春夏の新商品等、今後の売上回復につながる企画等が見受けられないことから、厳しい状況が続く。	
やや悪くなる		繊維工業（経営者）	・消費税の総額表示に関して、売値が上がったとの誤った印象を店頭で持ち、購入にブレーキを掛けている傾向が現在でも見受けられる。2～3か月先には更にこの傾向が強くなる。
	化学工業（経営者）	・船積み運賃の上昇、アメリカ穀物相場の上昇で原料価格の上昇は避けられないほか、4月からの消費税の総額表示による影響が懸念されるなど、まだまだ厳しい状況が続く。	
	輸送業（営業所長）	・春先から初夏にかけての見積り、問い合わせ等が少なく、先行きが不透明である。	
悪くなる	繊維工業（団体職員）	・原材料価格が高止まりしたままであり、受注量の減少幅が徐々に拡大していることから、先行きの回復には期待できない。	
雇用 関連	良くなる	民間職業紹介機関（支社長）	・大手メーカーは新卒採用にパワーを結集し、中途の採用が一時ストップすると思われるが、それ以外の企業の中途採用活動が4月以降も勢いが落ちるとは思えない。
		人材派遣会社（社員）	・来年度の新人採用数が増加傾向にあることが公表されるなど、取引先での人材確保が活発化してきている。派遣社員でも良い人材がいれば採用するという前向きな姿勢が展開しつつある。
	やや良くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人広告に対する反響が良くなってきている。これは雇用のミスマッチが解消されつつあるということなので、今後良い方向に向かうことが期待される。

	新聞社 [ 求人広告 ] ( 担当者 )	・ 1 月 ~ 3 月の 3 か月のスパンで求人数の動きをみると、中小企業からの募集が前年比110%で増加している。この3か月スパンでこのような数字はここ近年では珍しいことから、先行きに期待できる。
	学校 [ 大学 ] ( 就職担当 )	・ 大手企業、中堅企業の大半が新卒採用数を増加していることから、先行きに期待できる。
変わらない	人材派遣会社 ( 経営者 )	・ 派遣法改正による問い合わせ件数は増えているが、受注については結び付いていない。
	職業安定所 ( 職員 )	・ 求人数は増加傾向にあるものの、派遣、請負契約による短期的な就労等不安定な求人が多く、雇用面での不安が解消されるには至っていない。
	職業安定所 ( 職員 )	・ 全体としての求人数は増えてきているが、中小企業については本格的に増やしていく動きはないことから、今の状況が続く。
やや悪くなる	新聞社 [ 求人広告 ] ( 担当者 )	・ 無料情報誌が街角に氾濫し、新聞の求人広告市場はますます厳しくなることが懸念される。
悪くなる		